

基本の浅水管理で分けつ促進を!!

高温対策は『夕落朝入』のメリハリとケイ酸追肥が大事!

現在の生育状況

- ・ 6/10 現在のあきたこまちの生育状況は、育苗期間の気温が高かったことを受け、**草丈長め**(平年比 102%)・**葉数は進んでいます**(平年比+0.1)。
- ・ 5月6半旬(5月25日前後)～6月1半旬(6月5日前後)にかけて平均気温と日照時間が平年を下回ったことから、**茎数は平年比76%**と今年も初期分けつが緩慢な状況となっています。
- ・ 気温の上昇と雨が少ない状況により、**カナ(藻類)の発生が多くなっており**、今後稲わら等有機物の分解により**メタンガスの発生も懸念**されます。(光合成と生育・発根阻害)

これらを鑑みた対策として・・・

- ①週末にかけて、4日ほど連続で最高気温が30℃を超える予報となっています。**高温対策を考慮しつつ、分けつを促進させる浅水管理**に努めましょう。

特に、湛水及び深水管理となっている場合は**夕方に落水又は薄水**にして「根を冷やし」、入水する際は**早朝に行い**基本の**浅水管理**とし「日較差を大きくして」分けつを促進させましょう。

- ②**稲体を冷やし(丈夫に)、発根を促進させる「ケイ酸肥料」**を散布しましょう。特に、還元の高い圃場やカナの発生で生育抑制が見られる圃場にお奨めです。

メタンガス抑制に効果のある鉄を含むケイ酸肥料「**シリカ未来**」、定番の「**マルチサポート2号**」や「**けい酸加里プレミア34**」など20kg/10aを目安とし、浅水状態のまま散布してください。

- ③熱中症に注意し、しっかり**水分補給**しましょう。作業も気温の低い朝夕に行うなどメリハリが大切です。